令和7年度名取市自死対策協議会　会議録

【日時】令和 7 年 11 月 18 日(火)　13:30～14:20
【場所】名取市保健センター会議室
【出席者】
〇委員 13 名
　齋藤会長、板橋副会長、仲野委員、内田委員、橋浦委員、太田(博)委員、太田(伸)委員、川村委員、佐藤(智)委員、石川委員、熊谷委員、佐藤(元)委員、芳野委員
〇欠席 2 名
　小坂委員、渡部委員
〇事務局 6 名
　中山部長、安部所長、加藤補佐、矢澤統括保健師兼保健総務係長、佐藤技術主幹兼成人保健係長、伊藤技術主査、阿部

【内容】
1. 開　会

2. あいさつ

3. 副会長選出

4. 議事

(1)自死の現状について(令和 6 年度)…資料 1　伊藤技術主査より説明

質疑応答:

〇委員
　今回新たに入った未遂者の統計や自損行為に関する出動件数等も踏まえると以前よりもまた印象が違う。幅広い世代の中で対策を考えていかなければならないと思った。

〇委員
　資料が多いので、事前に配付して欲しい。

〇事務局
　次回以降、事前にお送りできるよう準備したいと思う。

〇委員
　名取市のデータだが 10 数人と少ない中で傾向が把握できるほどのデータ数なのか。
県や国はある程度数が多いので、できると思うが市の場合、人数そのものが小さいので、それで傾向が図れるのか。1 人 2 人違っても変わると思う。毎年毎年対策が変わるような感じにならないかという懸念がある。

〇事務局
　ご意見の通り、数人の結果の違いで大きくデータ異なってくるので、経年的に見ていくということを行っている。また 5 年間の平均などとあわせて見比べながら、ある程度は特徴や傾向というのが、つかめるのではないかと考えている。

〇委員
　この数字の中には、自殺する場所に名取市を選んだという人の数値というのは入っていないのか。

〇事務局
　そういったデータも別にはあるが、今回資料にまとめているものの中にはそういった情報は入っていない。

(2)名取市自死対策計画(第 2 次)の進捗について…資料 2・3　佐藤技術主幹兼成人保健係長より説明

質疑応答：

〇委員
　資料3の一覧表には、数値で示しているものがあるのか。
例えば NO.1 の「ホームレスの確認」では、平日は毎日パトロールと記載があるが、例えば「1 年間で、ホームレスまたはこれらしい事象の確認が何件あったか」や、「そのうち何人をどうこうした」という数値があるのか。

〇事務局
　細やかな、何件行ったという数値までの目標としていない。今回達成度(〇や◎)として各課の主観でつけている状況。

〇委員
　各課の主観でというのはいいが、数値はどこかにはあるのか。私達がこれ見せられてもこれで十分いいのか分からない。それから〇と◎の判断として、各課でどういう共通的なイメージ・評価基準なのか。

〇事務局
　委員の皆様が判断できるような形の細やかな数字までは取っていなかった。次回以降もう少し具体化してイメージできるように数値なども入れていけるよう進捗をとっていきたいと思う。

〇委員
　この会議に必要ないならば良いが、抽象的な意見しか言えない。もっと具体的な意見を欲しいのであればもっと具体的な数字というのは必要だろうと思う。

〇事務局
　今後検討していきたいと思う。

〇委員
　NO.8 の介護長寿課は細かな来所件数なども載せているので、そういったものを参考にしながら、提出のデータなどは、各課合わせて提出していただけるようにするとよりわかりやすいと思うので、検討をお願いできたらと思う。
　また、資料 2 の主要施策の 3「住民への啓発と周知」につきまして、配布枚数で目標の方を記載している。令和 16 年度も、年間 600 枚以上という形で配布での周知が目標にあるが、この他にもしポータルサイトや Web 等も含めて周知啓発しているものがあれば知りたい。

〇事務局
　現状としては、市のホームページに心の健康に関する部分で周知している。ホームページはナトぽたというアプリと連動して掲載している。

〇委員
　現状で情報収集のところでは配布も含めて、ポータルサイトやインターネットでの情報収集も盛んになってきたので、そういったものも可視化されるとなお取り組みが見えてくると思う。

〇委員
　資料 2 の目標値が令和 16 年度となっているが、この意味を教えて欲しい。

〇事務局
　自死対策計画は令和 17 年に評価するため、その前の年ということで、令和 16 年度としている。こちらの他にも健康増進計画もあり、そちらとも合わせた形になっている。

〇委員
　年 1 回、庁内全体を含めて対策協議会を開いていることは、それぞれの対策を共有する上でとても大切なことをしていると思う。今年開催して、それぞれの庁内の関係者で共有できた課題やこのようなことをやっていこうなど、共有されていればぜひ教えていただきたい。

〇事務局
　進捗状況を説明したというところで、1 つの話題に関して、細かくという検討ではなかったが、先ほどお話したことと同じく、各課で共有しながら自死対策について事業と結びつけながら取り組んでいくというところで話し合いを持った。

〇委員
　感想も含めて、そして未遂傾向者の方で、精神的な医療の方でも受診している傾向もあるようだあったので現場の意見をお願いしたい。

〇委員
　感覚的には自殺などをされる方は減っている印象はあまりなく、一定数入ってきているなと思う。実際のところは入院患者さんは全体的に減ってきているが、外来も含めてそういう感想をもった。
　児童の方に関すると家庭の問題も関わってくるので、そこになかなかサポートが入りづらい。どうしても医療だけではなく、今回の協議会のように、地域やいろいろなところと関わっていかないと支えていけないと現状では感じている。確かに入院してる間は自殺しなかったり、予防というのはかなり高いが、退院した先、地域に戻ったときに、どう関われるかゲートキーパーの関わりもそうだが、すごく重要だと思う。
　それにあたって先ほどもご指摘あったような資料の量も含めて、事前にもらえると私どもとしてもそれに合わせた情報を提供できるかなと思った。

〇委員
　医療の現場からの話も含めて地域との関わりの重要さといったところも大切と思う。自分も子供・子育てに関わるような分野におり、若者世代・39 歳までの支援といったところも視野に入ってく中で、名取市としての取り組みもそこも含めて考えていく必要があると感じていた。
　医療的ケアのところから、今度は地域への関わりといったところをしっかりと考えていけるような体制を作っていけたらいいなと、話を伺って感じた。

〇委員
　地域の繋がりは重要だと思うので、具体的な「こうしたら減るのではないか」あるいはマイナスの事例・失敗例なども、ぜひ紹介していただければなと思う。

〇委員
　今回ではなく、今後時間があれば具体的に何か共有できたらいいと思う。

〇委員
　すごく重要な提案かと思うので、今すぐというのではなく、次回のところで、そういった場面を想定した形で進めさせていただければと思う。
　他に意見がないようなので、以上で議事を終了とする。

5. そ の 他
　特になし

6. 閉 会